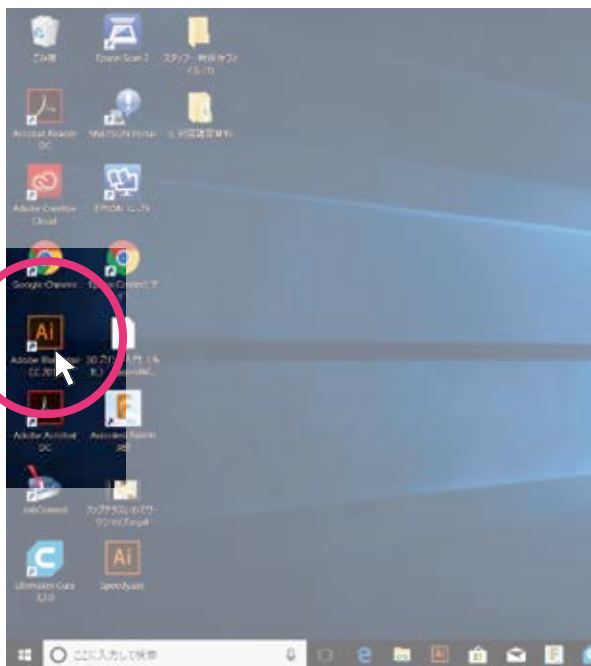


# レーザーカッター初回講習資料（データ作成編）

デスクトップから illustrator を起動します。

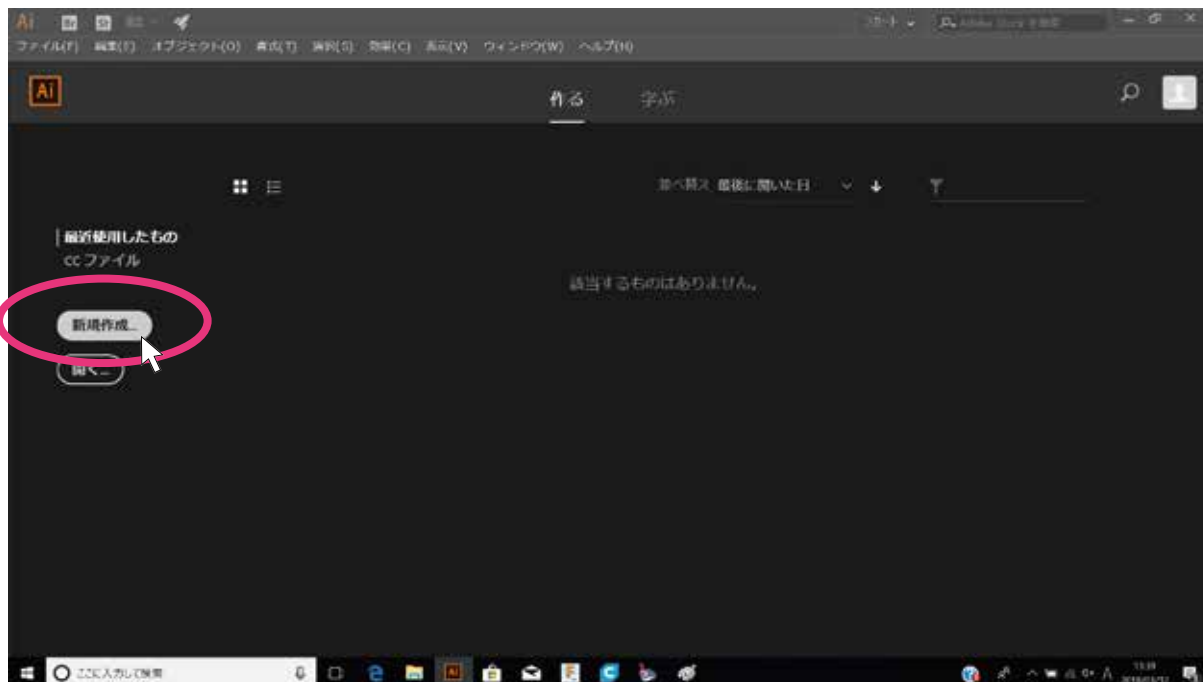


『Ai』と書かれたアイコンです。



illustrator 起動中画面

illustrator が立ち上がったら **新規作成** をクリックし、新規ファイルを作成します。



新規ドキュメントの設定を行います。

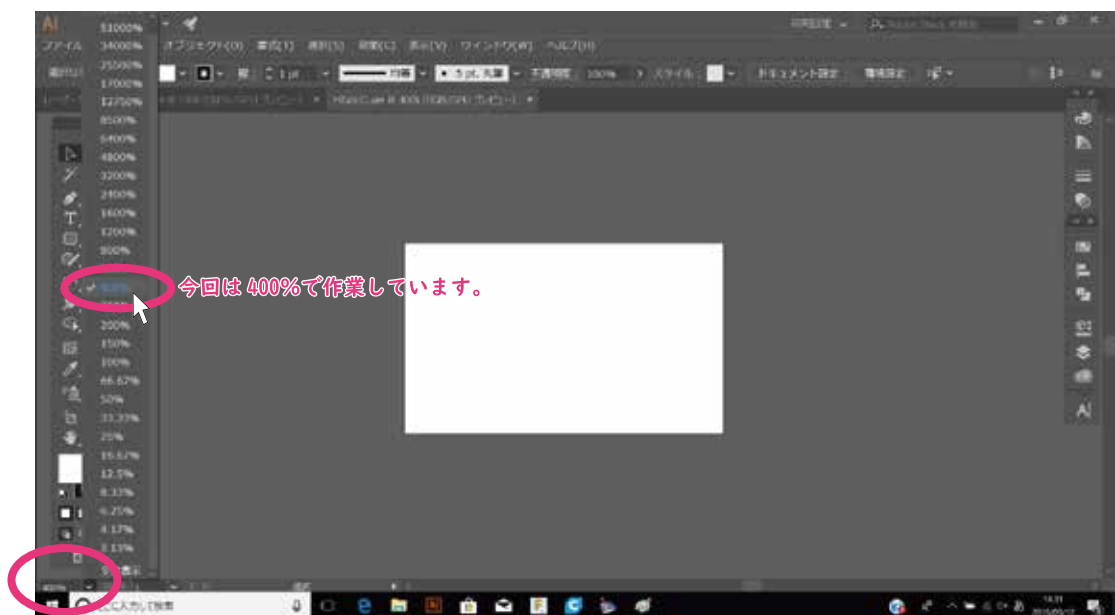


- ① 名前設定 半角英数で4文字以上。  
注) 日本語で設定すると、Job Control での表示がエラーになります。
- ② サイズ設定 今回は幅 100mm、高さ 60mm。  
(trotec speedy100 加工可能サイズ：303×608)
- ③ 裁ち落とし設定 0 mmにします。
- ④ カラーモード設定 『RGB カラー』
- ⑤ 最後に **作成** をクリック。

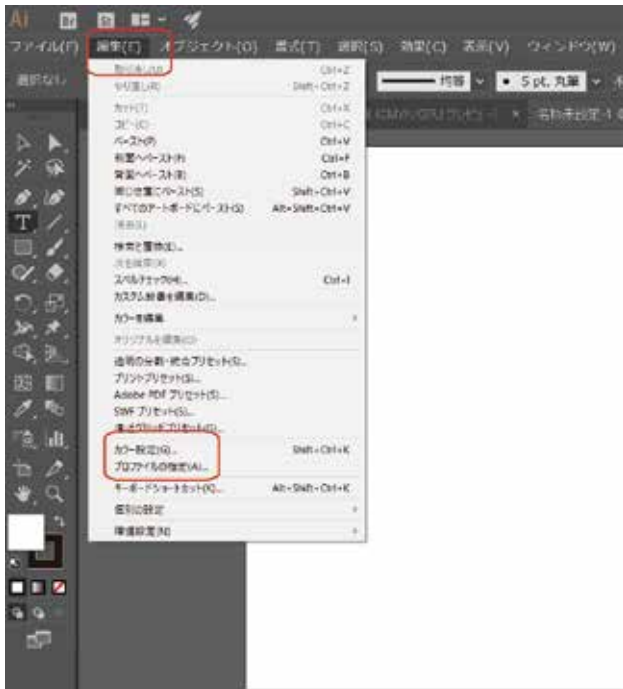


新規ドキュメントができました。

アートボードが見つからない場合は、適宜ズームアウト（イン）させてから作業しましょう。



カラー設定をします。

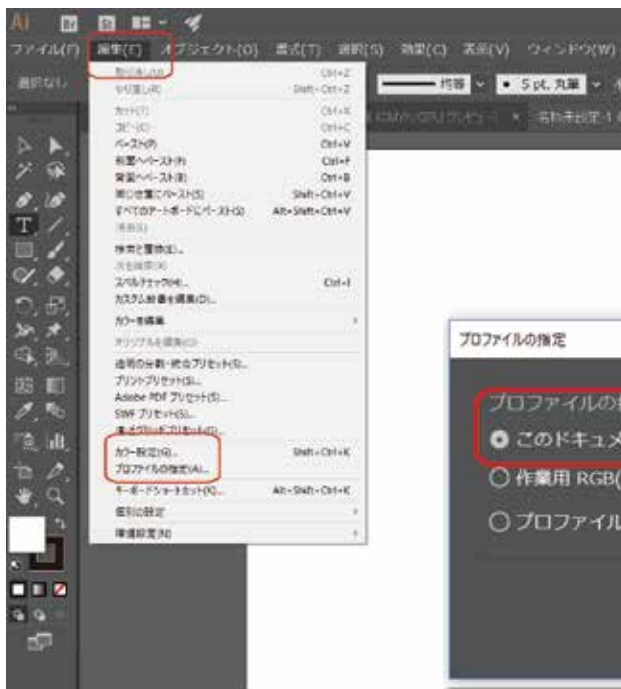


メニュー→「編集」→「カラー設定」

カラーマネジメントポリシー  
RGB・CMYKとも「オフ」に設定します。

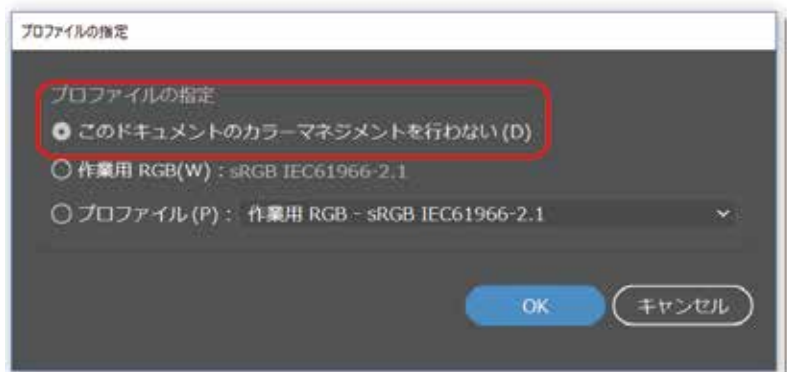


プロファイルの指定をします。

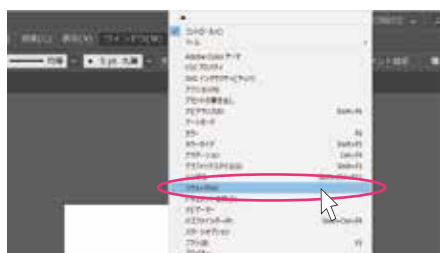


メニュー→「編集」→「プロファイルの指定」

「このドキュメントのカラーマネジメントを行わない」にチェックしてください。



データ作成に入る前に trotec レーザー加工機用のカラーパレット（スウォッチ）を用意します。



①上部メニューの **ウィンドウ(W)** →「スウォッチ」をクリック



②スウォッチが表示されます。  
③スウォッチ画面の右上の■をクリック



④「スウォッチライブラリを開く」から「Speedy」を選択し trotec 専用のスウォッチウィンドウを表示させます。

スウォッチはトロテック社の HP からダウンロードすることができます。

<https://www.troteclaser.com/ja/contact/technical-support/manuals/>

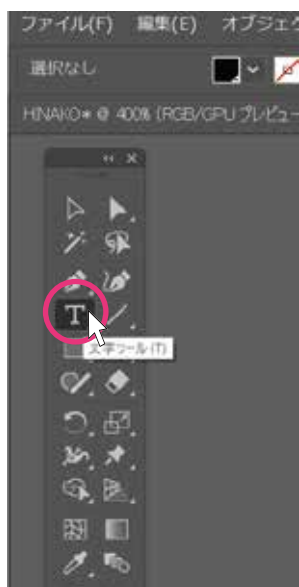
trotec 用スウォッチ「Speedy」

今回は 黒 彫刻  
赤 カット (内側)  
青 カット (外側)  
で、設定しています。

準備が整ったらさっそくデータ作成に入ります。

①左のツールバーの **T** (文字ツール) を選択。

②文字を打ち始める位置をクリックします。サンプルテキスト (山路を〜) が自動表示されるので、無視してそのまま文字を入力していきます。



## フォント・サイズ・カラーの設定

好きなフォント、文字サイズを選びます。

- ①メニューバーの「書式」→「文字 (C)」をクリック  
文字ウィンドウを開きます。



- ②変更したい文字の部分をドラッグ。



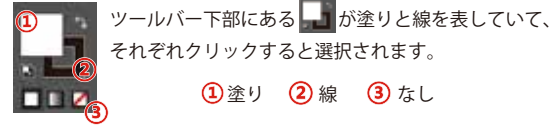
- ③表示された文字ウィンドウで設定していきます。



- ① フォントの変更

- ② 文字サイズの変更

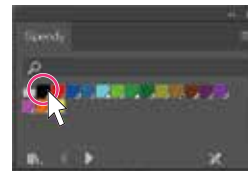
カラーをレーザー彫刻用に設定します。



- ①文字レイヤーをクリックし選択された状態にしておきます。



- ①塗りを選択し Speedy スウォッチから彫刻のカラーを選択します。  
線 (アウトライン) は  (なし) を選択します。



Speedy スウォッチ



塗り黒 (彫刻) 線なしの状態

## カットデータ作成

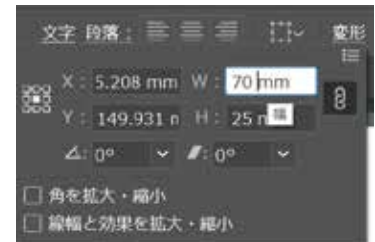
- ①ツールバーの を右クリックし角丸  
長方形ツールを ックします。



- ② カーソルでドラッグし木札の形になる  
(カット) 部分を作成します。



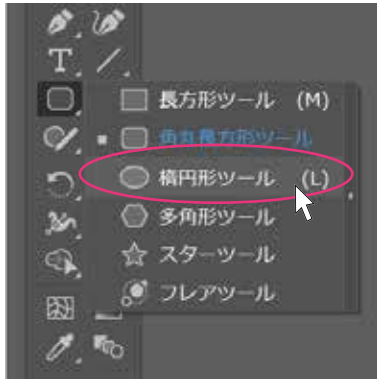
- ③コントロールパネルの「変形」の W (幅)、  
H (高さ) を変更することで、図形を任意の  
大きさにすることができます。



この時塗りが黒の状態のままだと塗りつぶされた図形で  
文字が見えなくなってしまうので塗りはなしにしましょう。  
 をクリックすると入れ替えることができます。



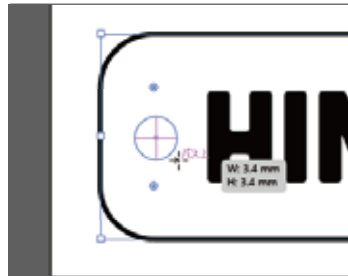
④次は楕円形ツールを使います。



⑤縦横比が1の正円になるよう、

「shift」キーを押しながら

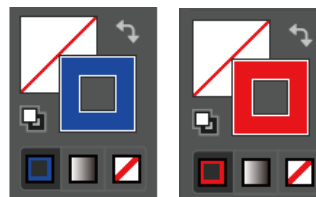
⊞ カーソルでドラッグし木札の穴になる  
(カット) 正円を作成します。



レーザー加工機でカットするために、線をカットのカラーに、線の太さを 0.003pt に変更します。

●線のカラー変更

外枠 (外側の線) を青、  
円 (内側の線) を赤に変更します。



外枠 (外側の線)



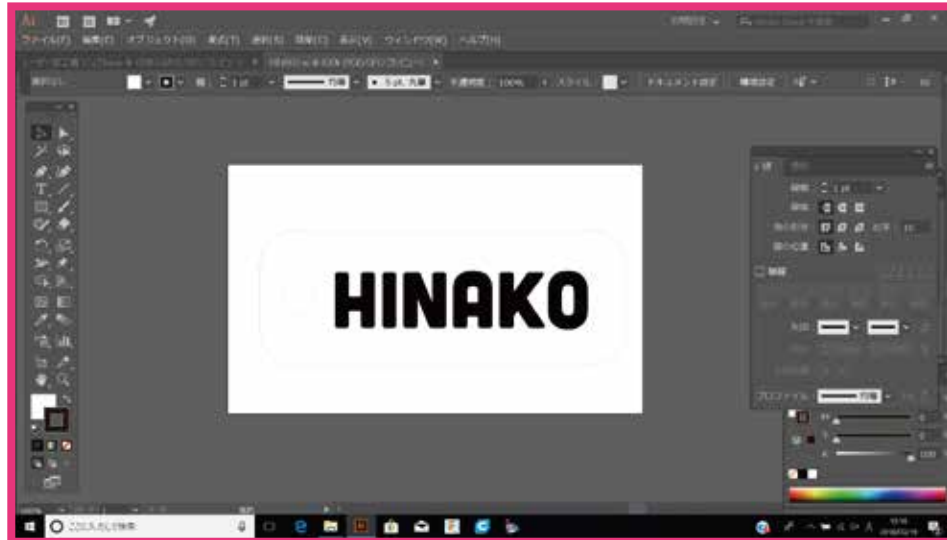
●線の太さ変更

線の太さは上部の [線: 0] に、数値を入力して 0.003pt に変更します。



線が細くなり見えにくくなります。

## データ完成

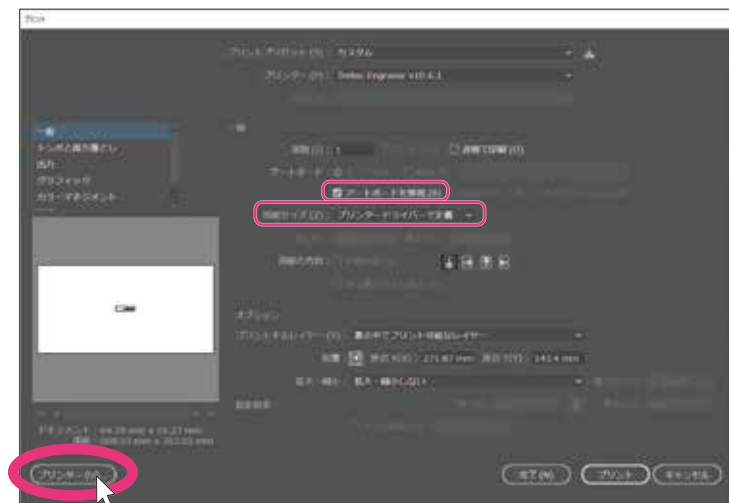


## データを JobControl X に送る

①ファイルメニューからプリントを選択します。



②プリンター設定が **プリンター (P): Trobeo Enginever v10.5.1** になっていること、アートボード設定が **アートボードを標準 (B)** にチェックしていること、用紙サイズ設定が **用紙サイズ (Z) プリンタードライバで定義** になっていることを確認し、左下の **プリンター (P)** をクリックします。



印刷の画面が出たら **詳細設定(N)** をクリックします。



下図と同じ設定になっているか確認してください。  
確認後一番下の **J** をクリックします。



印刷ウィンドウの **印刷(N)** をクリックし、その下のプリントウィンドウの **印刷** もクリックすると、ジョブコントロールが自動で起動します。

